

医療法人 溪仁会 定山溪病院で一緒に働きませんか？

院内連携や地域連携・・・『つながる医療』を提供する慢性期医療機関です。

【定山溪病院（慢性期病院）と急性期病院との違い】

慢性期	違い	急性期
QOLの向上	目的	治療、回復
主に高齢者	患者の年齢層	主に小児～高齢者
療養、介護	形態	治療
チーム医療	アプローチ	トップダウン
数か月～数年	入院期間	数日～数週間
主に治療薬・緩和	薬	主に治療薬
ジェネラリスト	薬剤師	スペシャリスト

【定山溪病院薬剤科の業務】

①調剤業務	入院患者386名（8個病棟） 外来患者30名／日 訪問診療、訪問リハビリにより在宅との連携も増加しています。将来的には訪問薬剤指導も実施したいと考えます。
②注射調剤業務	・注射薬調剤業務 ・混注（2012年8月より TPN を中心に実施中） ・抗 MRSA 薬（VCM、ABK）の投与設計します。
③病棟業務	兼任：1人1～2病棟 ・服薬指導（医療療養病棟で薬剤管理指導料算定） ・入院時持参薬のチェック ・患者の腎機能を評価し、適正な薬物治療をサポートします。
④チーム医療への参加 院内での薬剤師の活動	・病棟カンファレンス ・DST（認知症サポート） ・ICT（感染制御） ・NST（栄養管理） ・PTPU（褥瘡予防・治療）・医療安全委員会

【2016年度入職者の感想】

私は定山溪病院に就職して、この春から2年目になります。私が学生の時実習に行った施設は急性期病院だったのですが、患者さんの在院日数も短く1人の患者さんに深く関わることができませんでした。

病院実習での経験から、私は「患者さんに長期的に関わっていきたい」と思い、慢性期の病院での就職を志願しました。1年間経験してみて、薬剤科では1つの業務に特化した働き方ではなく、新人の時から多くの事を経験させてもらったことも良かったと思っています。また、多職種との連携もとれやすく、1人1人の患者さんに深く関わり、薬剤師として「支える医療」の提供を实践していける環境だと実感しています。